くも合戦

かじき 広報

題字　宇都宮町長

4月の人口・世帯
（63年4月1日現在）

総人口23,343人(-292)	出生 20人
男 10,952人(-172)	死亡 12人
女 12,391人(-120)	転入248人
世帯数 8,015 (- 52)	転出548人

●（　）内は前月との比較●

お弁当を広げて……（龍門滝にて）

ピクニック

龍門滝の森や高岡公園などの広場で、春の日ざしをいっぱいに浴びて、たくさんの家族やグループがお弁当を広げている光景を見かけました。

最近は、野外で食事を楽しむピクニックが大変な人気です。野だてなども、野外を楽しむ伝統の一つでしょう。

ところで、五月は野鳥の繁殖期で、美しいさえずりが聞ける季節です。ピクニックをしながら野鳥の声を聞くなんて最高ですね。

五月十日から十六日までは「愛鳥週間」――いわゆるバードウィークです。自分の住んでいる地域にはどんな鳥がいるのか――家族で確かめてみるのもいいですね。

今月のページ

▷龍門滝の森植樹祭…2ページ　▷行政連絡員…3ページ
▷まちのわだい…4～5ページ▷町教職員就任式…6ページ
▷スポーツ…7ページ　▷地区内の偉人を顕彰…8ページ
▷緑十字金章を受賞，日曜在宅医……9ページ
▷お知らせ……10ページ

昭和63年 5月号

●No. 403　発行 加治木町・編集 総務課 ☎ 62―2111●

ツツジを植樹

龍門滝の森 植樹祭

『龍門滝の森』のオープンを記念して四月二十一日〝植樹祭〟が行われ、宇都宮町長や町議会議員、自治会の代表者などが、百五十本あまりのツツジを植樹しました。

この日は、宇都宮町長が「皆さんの森として親しんで欲しい」とあいさつした後、キジ十羽を放鳥、参加者が一人一本ずつ龍門滝の森の一角にツツジを植えました。

龍門滝の森は、雄大な龍門滝の景観や網掛川の流れを見ながら散策できる遊歩道やフィールドアスレチックなどが整備されており、また、桃や花桃、ツツジなどのほか一千八百本あまりのエビネも植栽されており、訪れるおおぜいの人の目を楽しませています。

キジを放鳥

〝人材育成に〟と50万円寄贈

上原清善さん（沖縄）

上原清善さんが寄贈

沖縄在住の上原清善さんが四月七日、町長室を訪れ「子供たちを立派に育成して下さい」と、五十万円を町に寄贈されました。

これは、戦地から帰られる際、約一週間加治木でおせわになったことへのお礼を込めて贈ったもので、これまでも町内の小・中学校に多くの本を寄贈されています。

町では、町立図書館に「上原文庫」を設け、人材育成のために活用することにしています。

新受講生は三百八十五人

社会教育学級開講式

「楽しく学び、よりよい人生を築こう」をテーマに、社会教育学級の開講式が四月二十八日、福祉センターで行われました。

この日は、新しい受講生三百八十五人を含む学習意欲に燃える四百人あまりの学級生が出席。乙須教育長が「自分のためだけでなく人のために勉強するのだ、という気持ちを持って学習に励んで下さい」とあいさつした後、各学級ごとに講師を囲み、年間の学習計画を話し合いました。

社会教育学級は、園芸や生花、書道、民踊、音楽、薬草、郷土史、さつま狂句、陶芸、手芸など十三の学級が開講され、また、年二回全学級生を対象に一般教養講座も開かれることになっています。

向学心に燃える受講生

わたしの見た 加治木町《10》

新しい伝統を生み出す努力も

加治木警察署長 濱元 加

私は三十年余り前、警察学校の研修旅行で加治木町を訪れたことがあります。稲を刈り入れた後の平和な田園風景が未だ私の印象に残っていますが、今の加治木町には昔日の面影はありません。今は九州自動車道が通り、港は整備され、近くに空港があって、上空を国内や国外に向かう旅客機が飛び交っています。住宅団地が造られ、家が建ち、市街地は大きくふくらんでいます。そして、農家は減り第二次産業、第三次産業への就業が増えています。

私は、昨年九月に当地へ赴任して来まして、一変したこの町の姿に、歳月の重さを感じております。

しかし、この様な見掛けの変化にかかわらず、全く変わらない面もあります。

伝統行事の「太鼓踊り」や「くも合戦」は往時のままに続けられ、村々からの買物客でにぎわった「初市」は、今も盛大に開かれています。名物「加治木まんじゅう」の店もあります。

古くからの伝統がこの土地にしっかり根を張っている様子がうかがわれます。

伝統を保持することは、確かに大事であります。が、それと同時に、新しい伝統を生み出す努力も怠ってはならないと思います。

いま、加治木町では、これからの時代に向けて、新しい町づくりが始まっています。ミニ鹿児島市でもなければ、周辺都市に付随するベッドタウンでもない、独自の文化を持つ、近代的な都市が創造されますよう念願してやみません。

◆プロフィール

県都・鹿児島市の御出身で昭和30年に入署。初めての地加治木署に昨年赴任された。

御趣味は，クラッシック音楽の鑑賞と釣り———。

沖永良部などに赴任中，釣り糸を垂れながら見た“海が落日の金色に染まる景観”は「忘れられない……」とか。

増田昌弘さんら百十七人を委嘱

行政連絡員辞令交付式

町民と行政との橋わたしをお願いする行政連絡員百十七人の辞令交付式が、四月二十七日福祉センターで行われ、浜村の増田昌弘さんに、宇都宮町長から辞令が手渡されました。

町政及び自治会発展のため、よろしくお願いいたします。

よろしくお願いします

▼行政連絡員（昭和63年度）

■辺川下・中野　鶴吉・45世帯
■辺川中・田中　正志・16
■鶴　原・日高　深・25
■市　野・福丸　早苗・12
〔辺川地区　９８世帯〕

■永　原・池田　善一・70世帯
■丸　岡・森木　實・13
■隈原上・榎谷　博務・29
■隈原下・坂元　慶二・18
■市野々・大山　定志・5
■上　嶽・田中　年秋・27
■下　嶽・嶽　勇・26
■提水流・中村　正紀・13
■菖蒲谷・向江　守・61
■桑　迫・寺師　正美・28
■曲　田・今吉　亨・15
■桃木野・梅木　正則・20
■東ヒナバ・坂元　辰志・9
■西ヒナバ・坂元　清行・14
〔永原地区　３４８世帯〕

■高井田・津崎チエ子・207世帯
■春日団地・上原　一夫・128
■空港団地・原口　敏彦・66
〔木田第一地区　４０１世帯〕

■新　中・堀之内康雄・55世帯
■西ノ原・谷山　力夫・55
■楠　園・弓場　照雄・111
■中福良東・吉岡　秀男・32
■中福良後・岩崎　潤子・63
■弥　勒・平田　豊文・110
■上木田・穂森　優・100
〔木田第二地区　５２６世帯〕

■小　烏・原口　英世・128世帯
■赤　坂・枝元　哲弥・192
■原ノ門・原口　一郎・77
■中　央・徳永　博文・153
〔木田第三地区　５５０世帯〕

■江口団地・中間　勇・71世帯
■西江口団地・松下美代子・104
■岩原東・木場　政昭・151
■岩原西・中元　邦夫・310
〔錦江第二地区　６３６世帯〕

■浜　村・増田　昌弘・107世帯
■須　崎・宮路　芳彦・248
■豊　町・有馬　純明・160
〔錦江第三地区　５１５世帯〕

■向江町・下楠薗久士・76世帯
■東塩入・徳永　一男・136
■中塩入・岡山　俊夫・58
■南塩入・君付　久子・82
■西塩入上・中原　久子・80
■西塩入中・天利　勇・40
■西塩入下・蔵満　洋一・106
〔錦江第一地区　５７８世帯〕

■石　野・石野　斉・18世帯
■鞍　掛・猪目　二男・15
■永　山・川原　忍・14
■下東木・渋谷　辰夫・18
■上東木・中野　昇・12
■赤　谷・山口　文子・18
■西浦西・岩元　道男・33
■地久里■下津佐藤夫・4
〔竜門西浦地区　１３２世帯〕

■上川内・川原　節男・8世帯
■川　内・東川内寿男・26
■市来原・内村　行男・46
■新　開・松葉瀬義美・14
■宮田ケ平・坂元　広幸・22
〔竜門東浦地区　１１６世帯〕

■麓　・大岩根司郎・13世帯
■毛　上・篠崎　秋明・73
■茶碗屋・隈元　義己・26
■伊部野・日高　広美・23
〔竜門西元地区　１３５世帯〕

■布　越・畠中　求・43世帯
■井手向・増丸　親夫・22
■高　崎・吉村　次男・12
■岩穴口・川野　義夫・15
■徳　永・笹峯　清美・18
■小田倉・武田　薫・20
■迫　上・岩元　正資・12
■迫　下・米澤　久男・25
■御狩山・今吉　行子・11
〔竜門東元地区　１７８世帯〕

■中野・永吉　昭子・41世帯
■楠原・石川　年幸・24
■弓削・本村アヤ子・10
■長谷・猪方　清則・31
〔中野地区　１０６世帯〕

■西反土前・東脇　正徳・31世帯
■西反土後・今薗　光夫・66
■萩　原・坂元　親正・210
■城　・湊　信子・10
■口ノ町・綾田　成樹・40
■内原田・南薗　義久・110
■札　立・有馬　親文・148
■川　原・福薗　國治・26
■蔵王団地(1)・松崎　貞子・75
■蔵王団地(2)・吉松　慶祐・75
■蔵王団地(3)・古川　中・50
■棚　目・下新原　力・41
〔城北　８８２世帯〕

■日木山黒川・梅橋　弘之・47世帯
■日木山団地・撰　正敦・53
■吉　原・左近充純親・248
■東吉原・熊ケ迫勝久・68
■下新道・藤井　節夫・143
■里ノ上・時吉　一朗・19
■里ノ下・高田　三男・80
〔城東第一地区　６５８世帯〕

■新　町・別府ユキノ・38世帯
■垂ノ口・東村　栄・127
■江　湖・小松　幸男・26
■上　浜・松田　弘治・97
■中　浜・亀井　政夫・68
■下　浜・川野　敦朗・118
■蒲生田(1)・福元　澄則・7
■蒲生田(2)・川井田英雄・17
(川井田幸市)
■今　町・竹内　親男・113
■昆沙門町・竹内敬一郎・25
■西　町・尾上　辰二・27
■端　山・西倉　厚・109
■反土黒川・岩崎　正・79
〔城南地区　８５１世帯〕

■柳　田・今中清一郎・205世帯
■於　里・桐山　照義・130
■新富団地・佐川　茂・44
■田　中・中山　澄雄・175
■竹　下・平野　正男・93
〔城西地区　６４７世帯〕

■天　神・上村　直・114世帯
■東諏訪・松元　典夫・133
■西諏訪・岩崎　為則・117
■小　陣・浜田　忠治・68
〔城東第二地区　４３２世帯〕

まちのわだい

潮干狩を安全に楽しんで

●須崎海岸を清掃（４月10日）

潮干狩の解禁を前にした４月10日，錦海漁協の新原秀信理事や婦人部員（郡山律子部長），宮路義彦自治会長など40人あまりが，須崎海岸の清掃に汗を流しました。

これは，潮干狩を安全に楽しんでもらおうと毎年実施しているもので，この日は，海岸に打ち上げられた木切れやゴミを焼いたり，トイレ周辺や堤防などの草取りを行い，２時間あまりかけてきれいに清掃しました。

赤ちゃんの健やかな成長を祈る

●隈原自治会の〝ひなじょまつり〟

西別府の隈原自治会に伝承されている月おくれのひな祭り“ひなじょまつり”は４月３日行われ，堂森弘恵さん（加中１年）を大頭に，榎谷寿理さん（４歳）などきれいに着飾った女の子８人が，地区内を回りました。

坂元慶二さん宅では，昨年10月生まれた由真（ゆま）ちゃんを前に「踊れば花じゃ，踊らにゃ損じゃ」と歌いながら，踊りを披露し，赤ちゃんの健やかな成長を祈りました。

稚アユ50キロを辺川に放流

●網掛川内水面漁協（４月19日）

網掛川内水面漁協では，今年も釣り人に楽しんでもらおうと４月19日，稚アユ50キロを辺川に放流しました。

放流された稚アユは４月11日から田中いぜきで採捕した，体長５～６センチのもので，この日は，漁協の東一男理事や小宮路東理事，大野勝美さんらが，辺川の川原田橋と栗脇橋，辺川橋の３か所で次々と放流しました。

（釣りや投げ網には「鑑札」が必要です。）

思い切り自然に親しむ

●第１回健康づくり「歩こう会」

野山を歩きながら健康づくりをと「第１回健康づくり歩こう会」が４月17日，龍門滝や竜門司坂を回るコースで行われ，参加者は思い切り自然に親しんでいました。

歩こう会には，78歳の城国広さんや３歳の原口健嗣さん・西伴洋さん・戎真司さんなど150人あまりが参加。竜門司坂では，社会教育学級の内村茂先生が草花について説明を行い，参加者は熱心に聞き入っていました。

まちのわだい

石原五男さんら３人を委嘱

●県交通安全協力員辞令交付式（５月10日）

交通安全思想の普及・啓発に努める“県交通安全協力員”に，石原五男さんら３人が県知事から委嘱され，５月10日下楠薗助役から辞令が手渡されました。

県交通安全協力員は，これから１年間，町が行う交通安全活動に協力し，街頭立唱指導などに従事されます。

〔県交通安全協力員〕石原五男さん（上木田）▶大徳喜良さん（於里）▶田上宣昭さん（岩原西）

龍門司焼を熱心に見学

●ロータリーＧＳＥ一行が来加（5月4～5日）

国際ロータリークラブ派遣のＧＳＥ（研究グループ交換）の一行が５月４日～５日，加治木町を訪れました。

一行はケネス・シェファーさんを団長に，フロリダ州から選抜された６人で，４日は加治木ロータリークラブの蜂須賀正人会長やクラブ員と意見交換を行いました。

また，５日は龍門司焼企業組合を訪れ，ろくろを使った作業などを興味深げに見学していました。

楠園自治会が逆転優勝

●木田第２地区運動会（５月８日）

木田第２地区（上木田・西ノ原・中福良・新中・楠園・弥勒）の第３回運動会が５月８日，加治木小学校のグラウンドで行われ，おおぜいの地区民でにぎわいました。

この日は「びんたおし」や「あめくい競走」など20の種目に熱戦が展開され，優勝争いは最後までもつれ込み楠園自治会が最後の採点種目「自治会対抗リレー」で西ノ原自治会をかわし，優勝の栄冠を獲得しました。

グラウンド・ゴルフ教室を開催

●町体育指導委員会（３月６日）

ルールを覚え，ゲームに親しんでもらおうと，町体育指導委員会（竹下虎雄会長，委員11人）主催のグラウンド・ゴルフ教室が３月６日，高岡公園で行われました。

グラウンド・ゴルフは，ゲートボールにゴルフの要素を加えた競技で，ポストに何打数で入れるかを競うもので，この日は，親子連れなど80人あまりが体育指導委員の手ほどきを受けた後，ゲームを楽しんでいました。

早く加治木になじんで

町教職員就任式

今年、町内の小・中学校に赴任された三十六人の先生がたを迎え「町教職員就任式」が四月八日、福祉センターで開催されました。

就任式では、加治木小学校に着任された箒野守校長が宣誓を行った後、乙須教育長が「町民の信託に答えるよう、初心を忘れずに、子供の信頼を裏切らない先生になってください」と式辞を述べました。

また、宇都宮町長は「早く学校や地域にとけ込んでいただき、知識や経験を生かして、加治木の子供を育てて欲しい」と歓迎の言葉を述べました。

加治木の味をたんのう

宣誓を行う箒野校長

この後、先生がたに「早く加治木になじんでもらおう」と特大の加治木まんじゅう（普通サイズの十二個分）がふるまわれ、加治木小の佐藤邦彦先生（吉原出身）は「久しぶりに食べました」と、口いっぱいにほおばっていました。

赤ちゃんを扱うように

特大まんじゅうを製作

町教職員就任式でふるまわれた特大の加治木まんじゅうは、秀月堂の新福貢さんらの手によるもので、紅白・百四十個を作るのに三人で六時間あまりかかりました。

今年のまんじゅうは、一個が直径約二十センチで、普通の大きさの六個分もあり、作るのに三倍あまりの時間と手間がかかったそうです。

新福さんは「初めて作りましたが、赤ちゃんを扱うように大切に作りました」と話されました。

▼新しい先生がた……↓

大宮路照子さんが六段に合格

全国書道検定

日本教育書道連盟主催の第百四十回全国書道検定の審査が三月二十日、東京で行われました。

結果は次のとおりです。

▼一般部（漢字科）

仮八段　古城ミヨ
六段　大宮路照子
四段　永田かよ子
準四段　枝次康子
三段　坂元菊志
二段　新納純雄
準二段　重廣君代
初段　北原勲　坂元英蔵
　　権現免マリモ

▼教育部（小・中学生）

四段　上野芽里子
三段　中川智恵　河原良子
　　古市志信　蓬原則行
二段　松葉瀬春美　神薗隆行
　　日置美千代　吉薗令子
　　松木美智代　稲留大輔
　　竹之内貴史　阿部和美
　　小山田さつき　中川勝徳
初段　満尾智子　枝次真理
　　内村由美　上野倫睦
　　福重つや子　梅木英宏
　　中村一誠　松木あや
初段　愛下由香里　中村誠
一級　杉田雄一朗　高橋弥生
　　児玉えりな　吉薗智子
二級　大迫由香　宮脇明子
　　神薗小百合　岩元聖子
　　牧元加奈子
三級　宮脇涼子　川野卓
　　杉田浩　山下里佳
　　大迫俊貴　重留静香
　　山元美和　中村一志
四級　米丸朋子
五級　満尾和美　新秀太
　　岩元佳恵
六級　迫千恵子　吉川千尋
　　桃木野明子
　　木原美智子

学校名	職名	氏名	前任校
加治木小	教諭	村永　義明	鹿児島市立坂元小
〃	祇園下かおり		鹿児島市立福平小
〃	佐藤　邦彦		大島小湾
〃	常深　章		新採
加治木中	教頭	弓削　政憲	県立博物館
	教諭	永田　信道	鹿児島市立明和中
	〃	東　和寛	出水中出水
	〃	畑中　清和	毛小熊下西
	〃	本　兼光	良中姶山田
	〃	武田　信雄	良中姶牧之原
	〃	前原　学	島中大嘉鉄
	〃	倉津　惠	置中日串木野
	〃	坂元貴久子	鹿児島市立鹿池中
	〃	明石　浩久	鹿児島市立桜丘中
	〃	角屋敷順次	鹿児島市立鹿紫原中
	〃	出口　恭子	鹿児島市立鹿八幡小
	〃	藤枝　直美	肝属中田代
	〃	木原　敏行	新採

学校名	職名	氏名	前任校
柁城小	校長	森園　盛義	町長有明教育
	教諭	高井田律子	置小日生福
	〃	末野農夫男	水小出本脇
	〃	川越　廣海	良小姶竹子
	〃	町田　幸一	薩小北子岳
	〃	渡辺真由美	新採
	養護教諭	徳重美智子	島小大田皆
錦江小	教頭	原　森一	町事大隅派遣社主
	教諭	森　純一	町事中種子派遣社主
	〃	有村　暢高	新採
	事務職員	篠原　康之	島小大小湊
竜門小	校長	仮屋　學	宿小指松原
	教諭	濱田　俊二	宿小指丹波
	〃	桑水流洋一	島小大田検
	〃	谷口真由美	新採
永原小	教頭	松永　勇	良小姶北山
	教諭	新園　直美	新採
加治木小	校長	箒野　守	市長鹿児島指導係

公認一種審判員の資格を取得

木場正夫さん（井手向）

井手向の木場正夫さんが「(財)日本ソフトボール協会公認・第一種審判員」の資格を、昨年十二月十三日取得されました。

第一種審判員は、全国レベルの大会の審判も務められるもので、町内では二人目の「公認一種審判員」の誕生となりました。

木場さんは、第三種の資格を五十年七月に、また、五十八年十月には第二種の資格を取得されており、今回、宮崎市で行われた試験に合格されたものです。

木場正夫さん

熱戦スポーツニュース

無邪気チームが優勝

春季ナイターソフト（総当たり戦）

町ソフトボール協会（迫田正則会長）主催の春季ナイターソフトボール大会（総当たり戦）が、四月十一日から二十二日まで町営運動場で行われました。

大会には、六チームが参加。連夜熱戦が展開され、四月二十二日に行われた最終戦では、温泉病院チームがあすなろチームを十二対十一で破り、八日間にわたった大会を締めくくりました。

結果は、次のとおりです。

■優勝……無邪気チーム

■二位……セントラルチーム

温泉病院とあすなろの最終戦

ジョギング——まずは急歩から

運動

無理せず 年齢に応じた 方法を

ストレスに打ち勝つためには健康であること体力があることも大切な条件となっています。

健康な体を維持し若さを保つために——運動と栄養にも注意をはらってください。

体の若さを保つ——老化予防には何といっても運動がいちばん効果的です。

といっても、急に始めるのは感心できません。

自分では二十代のころの気持ちと少しも変わっていないつもりでも、体は正直です。

無理をせずに、年齢に応じたしかも自分なりの運動方法を考えましょう。

さて、運動の効果という点からすると、一日やって一週間休み、というような運動は、あまり役に立ちません。一日、三十分くらいでも、毎日続けることが大切です。

ところで、いちばん気軽に始められる運動といえば、その一つにジョギングがあります。

しかし「三キロ走るまでは絶対に止まらないゾ」などという無理は禁物。最初は急歩から始めます。まず、準備運動を行い、毎分七十五メートルくらいの速さで歩き、疲れたらペースを落とし、またペースを上げるようにします。

これが楽にできるようになったら、次に毎分九十メートルくらいの速さで歩きます。これを数日やってから、毎分百二十メートルくらいのゆっくりしたペースで走り始めるのがよいでしょう。

そして、走っていて疲れてきたら急歩に変え、少しおさまったらまた走る、という〝寛容さ〟を忘れないようにしたいものです。

〔ジョギングの注意事項〕

■良いジョギングシューズを選ぼう。

■服装は、季節に合ったものを選ぼう。

■夜間のジョギングは反射テープ等をつけて安全に気をつけよう。

シューズ選びのポイント

日常のランニングスタイル（6月～9月）

カメラ・ルポ

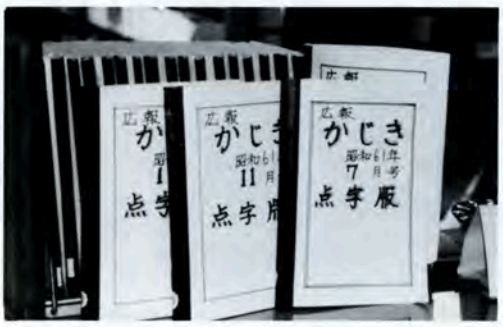
点字版の"広報かじき"を寄贈

釜付和江さん

今年三月まで田中自治会にお住まいの釜付和江さんから、これまで毎月「目の不自由な方のために」と、点字版の広報かじきが町に寄贈されていました。

釜付さんが作製された点字版の広報かじきは五十九年十月号から、六十三年の二月号まであり町立図書館に展示しています。

ありがとうございました。



釜付さんから贈られた点字版の広報紙

地区内の偉人を顕彰

田中自治会が標柱を立てる

生誕地に立てられた顕彰の標柱

田中自治会では、地区内にある入枝佐五右衛門と石神安光の生誕地に、それぞれの業績を記した顕彰の標柱を立てました。

これは「身近かにある歴史を掘り起こし、文化財保護の心を育てよう」と立てたもので、入枝佐五右衛門は、島津義弘公が加治木で死去したとき殉死した七人のうちの一人で、また、石神安光は加治木の初代村長を務めた人です。

町文化財保護審議委員の城国広さんは「加治木は多くの偉人を生んでおり、このような活動が町全体に広がれば…」と話されました。

ゴールデンロードランブル

金山道漫歩 23

加治木の美(二) 墓に刻む故人の趣味

『烏に反哺の孝あり』という諺があるが、まさに加治木ガラス衆のことではないだろうか。

それは古来、父母の恩は山より高く、海より深いといわれ、父母を敬い、手厚く仕えた人間味たっぷりな加治木衆の歴史に残る美しい孝行物語がある。

文化七年(一八一〇年)、西別府提水流の西森家に生まれたこまん女は働き者で才色兼備の女性であった。縁あって曲田の福元市太郎と結ばれ、仲睦まじい日々を過ごしていたが人間万事塞翁が馬、市太郎は突然帰らぬ人となった。

途方に暮れたこまん女は悲嘆の日々の中にあって意地悪な姑の仕打ちに耐えながら健気にも養子喜助を抱え、一家の暮らしを立てなければならなかった。

不幸にも姑は中風に倒れ、寝食から用便まで手がかかったが、いつも慈母観音を思わせるやさしいこまん女は姑が無理難題を言おうと、一口も愚痴をこぼさず丁寧に看護孝養を尽くした。

ある日、こまん女のことが殿様の耳に入り、なんと素晴らしい孝行女だろうと、明治三年八月二日、褒美米三石を下さるようになり、わざわざ重富の米倉から玄米十二俵(二斗五升入)を馬六頭に乗せ、先頭の馬の背に孝行褒美米の高札を掲げ皆の衆の範と道中をねり巡りPRしながら、こまん女の家に届けられたという。この事があってからは姑は、人が変わったようにやさしくなり明治四年静かに息を引き取った。その後こまん婆は喜助の孝養を受け幸せな生涯を送り、明治九年六月十八日、六十六歳で安らかに往生した。

また、木田の平清八、日木山の坂下袈沙市、下浜の森永庄右衛門の妻など、今に美しい孝行物語が伝えられている。

このような加治木衆中の限りない父母への孝行は、必然的に衆心が一致し祖霊を祀る墓を大事にし、墓参が日課の如き風習を産み出し染み込んでいった。

今、墳墓の前にぬかずくと、朝の光に花びらが輝き、線香の煙がたなびいて身も心もすがすがしい。鍬を持ち筆をとっても、また、のみやハンマーを持っても卑屈にならず媚を売らず、いつも心の鐘を打ち鳴らし生涯を終えた故人の趣味嗜好が墓石に鮮やかに彫り刻んである。酒が好きだった人は徳利と盃、碁に親しんだ人は碁盤と碁石など様様な彫刻墓が多かったが、合祀墓をするようになった今日、故人の味を永久に想い出させるものが消えて行く、誠に惜しい。

文と写真　松田繁美
さし絵　新福貢

孝行褒美米の行列

墓石に刻まれた徳利と盃

交通栄誉章

緑十字金章を受賞

岩下吉雄さん（下浜）

下浜の岩下吉雄さんが、多年にわたり交通事故の防止と交通秩助の確立に貢献された功績が高く評価され「交通栄誉章・緑十字章」を受章されました。

また、奥様の岩下ハツ子さんには、長年の〝内助の功〟をたたえ全日本交通安全協会長から感謝状が贈られました。

岩下さんは、昭和二十五年、県安全運転管理者協議会の結成に尽力され、以来、会の発展に努められており、現在は県の副会長、加治木の会長を務められています。

表彰式は、一月二十二日東京で行われた「第二十八回交通安全国民運動中央大会」の席上行われ、警察庁長官から表彰状が岩下さんに手渡されました。

岩下吉雄・ハツ子御夫妻

小鳥神社など3か所を清掃

加治木小学校の6年生

加治木小学校の六年生・九十九人が四月二十六日、小鳥神社と隈姫神社、春日神社の三か所の清掃作業を行いました。

これは、ボランティア活動の一つとして〝ゆとりの時間〟を使って実施したもので、この日は、クラス別に、ビニール袋を手にそれぞれの神社までの道の途中に投げ捨てられている空き缶や紙くずなどを拾って歩きました。

六年一組の子供たちは小鳥神社で、竹ボーキを手に落ち葉拾いや草取りを行い、一時間あまりかけてきれいに清掃しました。

清掃の後、子供たちは「空き缶はあまりなかったけどアイスクリームの袋が捨ててあった。自分たちはこんなことはしないぞ」などと話し合っていました。

きれいに清掃

薬草知られざる効き目 ⑤⑥

ヒキオコシ

本州、四国、九州、朝鮮半島のやや乾いた山地に自生するシソ科の多年生草本で、茎は四角で高さ十五㌢となり直立する。

その昔、旅人が山中で腹痛をおこし倒れていたという。たまたま弘法大師が通りかかり、近くに生えていた草をちぎり、そのしぼり汁を飲ませたところ、旅人はたちどころに回復し、元気になって旅をつづけた。

倒れていた人を起こしたので「ヒキオコシ」の名がつけられ起死回生の妙薬として「延命草」の名がつけられた、という。

秋、地上部を刈り取り、日干しにしたものを延命草といいます。

胃の調子がよくないとき、食欲不振、胃が軽い痛みを感じる場合、延命草10㌘を煎服します。

家庭薬にも多く配合されているそうです。抗がん作用の成分も見つけられているそうです。

晩秋、シソの実程の実がまばらに着きますが、これをきれいにしごいてとります。胃の調子が悪いとき、煎服するか、百草茶にまぜ、実をそのままかんだりします。

薬草の森では、作業員たちが10粒～20粒ほどかんでおりますが、胃の具合がよくなる、といっております。

秋、小型の淡紫色唇型花がまばらにつきます。このころ、必ずかまきりが飛来し、とまっております。

かまきりは、胃が悪いのでしょうか。

（筆者県民の森　上萩大治）

▽無断転載は、御遠慮下さい。

竜門句会

万灯のゆるる高野の月おぼろ　内田美津代

安産のお礼参りや大根（だいこん）咲く　竹山　洋子

夜桜や照明うるむ河岸の道　加藤　白柳

預けゐしギターを肩に合格子　古江　重美

黄の傘の低く続けり菜種梅雨　恒吉　斗南

待つ人のなき手枕や春炬燵　佐々木かすみ

茎（くく）立てる菜牡丹をなおゆるすかな　鶴田　耕

もぐさの香まとえるままの春炬燵　佐藤　玄酔

兵たりし日の操典よ山ざくら　川崎　黒兎

麗らかや我が名も彫られし碑に対ふ　高木　正男

日曜在宅のお医者さん

6月

	在宅医	電話番号
5日	池田医院	⑫2220
12日	大川医院	⑫2032
19日	川畑医院	⑬1499
26日	牧医院	⑬2222

1988 5 おもらせ

商業統計調査に御協力を

商業統計調査は、国の指定統計調査で、全国の卸売業・小売業を営む事業所を対象に、今年六月一日現在で実施されます。

この調査は、商業活動の実態や商店の分布状況、商品の流れ等を明らかにすることを目的としています。

調査の結果は、国や県の各種行政施策の基礎資料として、また、企業経営、研究の資料として広く利用されます。

調査票に書かれた内容は統計以外の目的に使用することは絶対にありませんので、ありのままを記入のうえ、指定の期日までに調査員に提出して下さい。

▽詳しいことは、県統計課（☎0992㉖8111・内線2264）までお問い合わせ下さい。

〝滝〟の名前を募集

町では、四月七日オープンした龍門滝の森の一角にある、二つの〝滝〟の名前を募集しています。

この滝は、龍門滝から上流の金山滝までの間の遊歩道沿いにあり、この一帯は「雲水峡」と名付けられた自然の美しい所です。

散策を楽しみながら、すばらしい名前を付けて下さい。

応募要領■ハガキに、二つの滝の名前と、住所・氏名・電話番号を御記入し、御応募下さい。

応募先■加治木町本町二五三　町経済課・林務係

▼薄謝を差し上げます。

「6月30日の消印」まで有効

すてきな名前をつけて下さい

うぶ声

出生児

新田　早苗　庄篭　優佑　山口　大樹　小野田陽子　西村　情子　馬場　大和　郡山　直　山口　早貴　内田　誠　新福奈津美　山根　慶恭　堀江　竜大　東　裕輔　有村　晃一　井上　彩　川上　真実　大工園恒平　有村　拓也　福永　勝也　武田　陽子　松元　邦諒　北園　美代　大庭　奨悟

保護者　自治会

教光　**岩原東**　正文　**赤坂**　敏弘　**弥勒**　健一　**西江口団地**　千恵子　**須崎**　弘二　**中央**　昭伍　**須崎**　敏郎　**萩原**　徳美　**萩原**　正美　**吉原**　宗徳　**中福良後**　正浩　**赤坂**　勝英　**赤坂**　政廣　**岩原西**　昭一　**春日団地**　修司　**西塩入下**　範明　**於里**　昭人　**西江口団地**　勝昭　**日木山団地**　洋吉　**下浜**　政己　**蔵王団地**　輝美　**西塩入下**　昭雄　**柳田**

▽四月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

三万円　**棚目**　榎谷百合子（夫三千代五三）
五万円　**東塩入**　上猶芳江（夫　榮　六五）
五万円　**吉原**　宮原徳次（**義母**　久保田テル　八六）
二万円　**東塩入**　中原トキ子（夫　鐵雄六〇）
五万円　**垂ノ口**　鮫島勝郎（母　チヨ八一）
三万円　**中央**　大山国人（**長女**　圭子十八）
二万円　**城**　城内秀清（父　清　八六）
五万円　**西諏訪**　梅田　君（夫　竹彦七八）
二万円　**赤坂**　寺師幸一（**長男**　悠貴〇）
三万円　**蔵王団地**　武田俊郎（**二男**博則〇）
三万円　**下獄**　山口住弘（父　吉次九三）
三万円　**今町**　郡山右一郎（母ヨ子八八）
二万円　**今町**　野元義秀（母フヂノ八三）
二万円　**岩原東**　松田ヨシ子（夫　春男七八）
二万円　**中浜**　濱川洋造（母　シツエ七八）

＝町老人クラブ連合会へ＝

二万円　**東塩入**　上猶芳江（夫　榮　六五）
二万円　**西諏訪**　梅田　君（夫　竹彦七八）

＝町育英奨学資金へ＝

二万円　**東塩入**　上猶芳江（夫　榮　六五）
三万円　垂ノ口　鮫島勝郎（母　チヨ八一）
三万円　中央　大山国人（**長女**　圭子十八）

■四月二十日までの御寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）

無料 人権法律相談

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員の方々が、自宅でも御相談に応じています。

お気軽に御相談下さい。秘密は固く守られます。

宮城俊治　反土一五四七　蔵王団地四七―二B―十四　（☎63 3787）

中摩多美子　反土二七五六　（☎62 2768）

岡山秀樹　錦江町二五三番地二　（☎63 2878）